

令和2年度“日清食品カップ”山梨県小学生陸上競技交流会
新型コロナウイルス感染症対策マニュアル

山梨県陸上競技協会小学生連合

① 大会への移動

- 山梨中銀スタジアムへの交通手段については、感染リスクの少ない自転車、徒歩、保護者の送迎による現地集合とする。

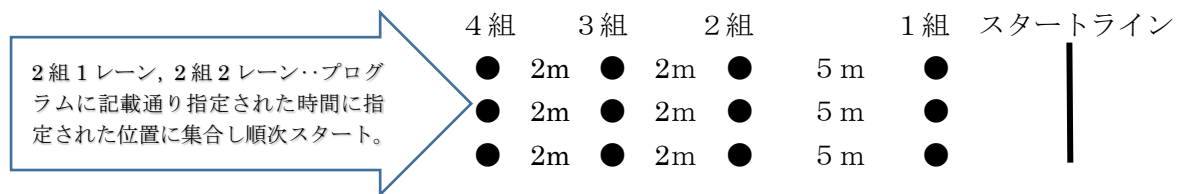
② 開会式

- 感染症対策上ルールとマナーを伝える意味からも実施する。(10時～簡単に)

③ 召集の方法

- 選手の密集を防ぐため召集所を開設せず、現地集合のみとする。場所と時間についてはプログラムの指示に従うこと。(トラック種目：スタート位置付近、フィールド種目：各ピット付近)
- 雨天走路は走幅跳の待機所とし、指定された位置で待機する。
- フィールド種目の待機場所では、1.5m間隔として指定場所で待機する。

☆例) 100m



④ 服装について

- 選手は原則常にマスクを着用する。ただし競技中(試技中)は外してもよい。

⑤ 観客席について

- 観客席での応援は禁止する。
- メインスタンドは決められた席での観覧とする。(座れる席を限定する)
- 受付時に健康チェック表と観覧許可証を引き換えて受け取り、常に携行すること。
- 観客はメインスタンドのみでの観覧とする。(最前列はコーチングエリア)
- 観客席最前列及びサイドスタンド、バックスタンド最前列のみ、コーチングエリアとして利用を認める。
- コーチングエリア使用時は、あらかじめ各クラブに配布された監督・コーチ証を携行すること。また、必ずマスクを着用する。(各クラブ3枚配布)

⑥ 各クラブの対策

- 各クラブでテントやシートでベンチ等を作っても構わないが、平素より広めにスペースを取ること。また、競技場内(雨天走路含む)に作ることはできない。
- 大会中選手同士でハイタッチをしたり、握手をしたりしないように事前に指導を行う。
- 大会中選手は他者との接触を極力控える。(保護者ともなるべく接触しない)
- 選手は競技が終わったら速やかに帰宅するよう指導する。また、集合も競技時刻に合わせて来場するよう指導する。

⑦ 補助競技場

- ・補助競技場の利用はなし。

⑧ 消毒について

- ・各クラブでアルコール等の消毒液を用意し、選手が競技場内に入るときと出てきたときに消毒をさせる。
- ・競技場内での消毒については、陸協で準備したものを使い役員の指示に従う。
- ・常に手洗い、消毒の徹底を指導する。

⑨ 健康チェック・参加要件

- ・大会当日の1週間前からJAAF健康チェック表を各家庭の責任の下作成し、本人が健康であることを確認したうえで、保護者が参加同意書を記入し提出する。当日の受付時に各クラブ代表がまとめて提出する。選手だけではなく、クラブ監督・コーチも同様に提出する。
(保護者は一般観覧になるので、別途各自での提出となる。) ※なお、大会4日前から当日の間までに該当欄に○印がある場合及び未提出の場合は、選手及び関係者の参加は自粛する。また、当日の検温が37度以上の場合も自粛とする。
- ・当日検温欄に記載がない選手は、検温ブースにて検温し参加の可否を判断する。
- ・試合を観戦する保護者についても一般受付で健康チェック表の提出が必要となる。各クラブでは事前に各家庭に連絡し、当日記入したチェック表の持参を徹底する。健康チェック表と観戦許可証を引き換え、常に携行する。※なお、大会4日前から当日の間までに該当欄に○印がある場合及び未提出の場合、当日の体温が37度以上の場合は観覧できない。
- ・大会後も参加者全員に健康チェックを義務付け、発熱、風邪症状等が4日以上続いた場合には各クラブを通して大久保まで連絡をし、該当者の健康チェック表を回収・提出しその後の指示を仰ぐ。

⑩ 競技運営

- ・時間短縮のため、決勝のみレーン紹介をする。
- ・各種目8位までを入賞とするが、表彰については3位までとする。
- ・トラック種目(100m, 80mH)は第4ゲートから競技場内に入り、ダッグアウト付近に荷物を置き、競技ができる準備を整えスタート付近の召集に向かう。
- ・競技終了後は、競技場内の芝生を歩き荷物を持ったら、第4ゲートから競技場外へ出る。

⑪ 救急・救護体制

- ・大会中、救護室に医師または看護師が常駐する。
- ・医師に指示のもと、隔離室を設け環境を整える。
- ・選手または関係者に発熱、体調不良者が出た場合は、直ちに大会本部に連絡をして医師との連携に努める。